

丸亀市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統
事業評価(令和6年度)

丸亀市基礎データ

合併状況:平成17年3月に1市2町が合併

人口:110,888人(令和6年10月現在)

面積:11,183平方キロメートル

【本島町】

人口:235人(令和6年10月現在)

面積:6.75平方キロメートル

丸亀市における主な公共交通概要

○鉄道・軌道 JR四国(予讃線)、高松琴平電気鉄道(琴平線)

○バス

(幹線)

- 丸亀コミュニティバス(丸亀垂水線、丸亀西線、レオマ宇多津線)
丸亀駅を起点とし、旧飯山町と旧綾歌町主要施設を經由し3路線で市内を運行するコミュニティバス

・島田・岡田線

NEWレオマワールド停留所、琴電岡田駅停留所、島田停留所で丸亀コミュニティバスとつながり、富熊西沖バス停留所で坂出綾川線と接続する。飯山町、綾歌町から坂出駅まで主に国道438号を走る民間事業路線

(フィーダー)

- 丸亀コミュニティバス(綾歌宇多津線、丸亀東線)
丸亀駅を起点とし、2路線で市内を運行するコミュニティバス
- 本島コミュニティバス
離島地域である本島地区を走行する自家用有償旅客運送
- 広島コミュニティバス
離島地域である広島地区を走行する自家用有償旅客運送
- 琴平線
琴平町と善通寺市、丸亀市を走る民間事業路線

○航路

- 本島汽船 : 丸亀～牛島～本島
- 備讃フェリー : 丸亀～広島～小手島～手島
- 六口丸海運 : 本島～児島

○タクシー

市内6事業者

地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

別添1-2参照

丸亀市の公共交通ネットワーク図



協議会の構成員

琴参バス(株) 丸亀タクシー組合 NPO法人石の里広島
本島汽船(株) 備讃フェリー(株) 高松琴平電気鉄道(株)
JR四国 丸亀市老人クラブ連合会
丸亀市身体障害者福祉連合協会
丸亀市コミュニティ協議会連合会
丸亀市民生委員児童委員協議会連合会 丸亀市観光協会
丸亀商工会議所 丸亀市PTA連絡協議会
学識経験者 公募委員
四国地方整備局 四国運輸局 香川県 丸亀警察署 丸亀市

前年度の事業評価における課題

(本島コミュニティバス)

バリアフリーに配慮した車両の導入や島民の生活にあったダイヤの設定について検討する。

また、収支率向上のため情報発信を行い来訪者の利用促進を図る。

(綾歌宇多津線・丸亀東線)

・地域の実情にあった運行ルート・バス停の位置の検討や利用者の意見を集約し利便性の向上に努める。

・バスロケーションシステムの乗降センサーを活用し路線運行の効率化を検討する。

・GTFS-JPにてオープンデータ化に取り組み情報発信に努める。

定量的な目標・効果

(本島コミュニティバス)

目標

利用者数を3,650人以上(令和4年度実績3,007人)とする。

効果

陸地部への公共交通ネットワークと連携することで、島民の通院、買い物などの交通手段となり、高齢者などの外出機会の確保・創出につながる。

また、交通空白地を少しでも減少でき、外出促進、地域活性化にもつながることが期待できる。

(綾歌宇多津線・丸亀東線)

目標

利用者数を綾歌宇多津線は42,160人以上(令和4年度実績36,151人)、丸亀東線は32,370人以上(令和4年度実績30,920人)とする。

効果

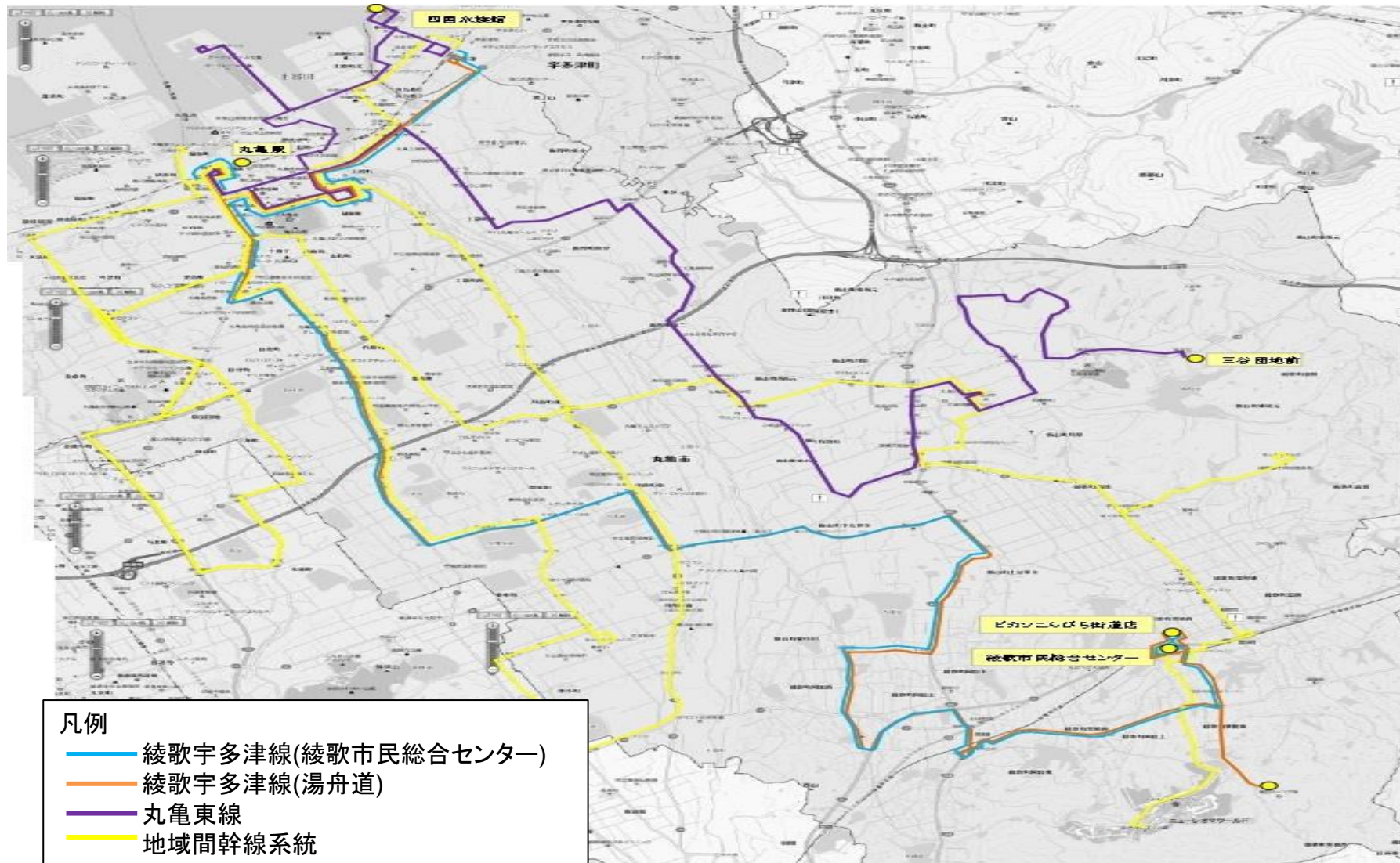
綾歌宇多津線、丸亀東線を維持することにより、学生や車を持たない高齢者の移動手段が確保される。また、幹線、支線のネットワークが連携することで、効率的に運行体系が確保される。

また、交通空白地を少しでも減少でき、外出促進、地域活性化にもつながることが期待できる。

フィーダー系統図 (本島コミュニティバス)



フィーダー系統図(綾歌宇多津線・丸亀東線)



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

(本島コミュニティバス)

- ・島民との意見交換を行い、バス停の新設、運行ルートの変更を行った。
- ・航路との接続以外にも島内での移動に配慮したダイヤ設定を行った。(1日5便から6便に増便)
- ・Google Mapでの路線検索で英語標記を追加し、来訪者の利便性向上を図った。
- ・75歳以上の高齢者、毎月20日の運賃無料キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図った。

(綾歌宇多津線、丸亀東線)

- ・利用状況により経路の見直しを行った。
- ・75歳以上の高齢者、毎月20日の運賃無料キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図った。
- ・市内の小学校においてモビリティマネジメント教育を実施し、新規利用者の掘り起こしや啓発活動を行った。

自己評価

事業実施の適切性

(本島コミュニティバス):A

- ・計画通り事業は適切に実施され、目標利用者数を上回る結果となった。

(綾歌宇多津線・丸亀東線):A

- ・計画通り事業は適切に実施され、目標利用者数を上回る結果となった。

「定量的な目標・効果」の達成状況

(本島コミュニティバス):A

- ・利用者数は目標の3,650人に対し、4,234人であり、目標達成率116%であった。

(綾歌宇多津線):A

- ・利用者数は目標の42,160人に対し、52,365人であり、目標達成率124.2%であった。

(丸亀東線):A

- ・利用者数は目標の32,370人に対し、46,478人であり、目標達成率143.5%であった。

今後の事業に向けた改善点

(本島コミュニティバス)

- ・利用者の高齢化により、バリアフリーに配慮した車両や、航路との接続以外にも島民の生活にあったダイヤの設定について検討する。
- ・収支率向上に向け、ホームページやGTFSデータを活用した情報発信を行い来訪者の利用促進を図る。

(綾歌宇多津線・丸亀東線)

- ・クーポン付き企画乗車券の導入を検討する。
- ・新規利用者の開拓を図るための事業に取り組む。
- ・引き続きバスロケーションシステムの乗降センサーを活用し路線運行の効率化を検討していきたい。
- ・GTFS-JPのオープンデータ化に取り組み情報発信に努める。

その他PRポイント

- ・令和3年3月策定の「丸亀市地域公共交通計画」に掲げた各事業について、関係者とともに進捗管理を行いながら取り組む。